

土砂防だより



梅雨の晴れ間に(御殿場市上小林)

静岡県支部通常総会	2
全国治水砂防協会総会	3
土砂災害防止月間活動	4
• 急傾斜地パトロールの協働実施	
• みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催	
土砂災害に対する全国統一防災訓練	6
東日本大震災を受けた砂防事業の取り組み	8
平成22年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	9
インフォメーション	10
直轄事業の紹介	11
募集お知らせ	12

特集 第66回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

土砂災害防止月間活動

土砂災害に対する全国統一防災訓練



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



原田支部長の挨拶

5月25日(水)、全国治水砂防協会静岡県支部の第66回通常総会を静岡市内で開催しました。

総会では、支部長の原田袋井市長が議事に先立ち、「東日本大震災でも土砂災害が発生しており、東海地震が予想される静岡県では、ますます土砂災害対策の推進は必要である」と砂防事業の重要性を訴えられました。続いて、知事代理の森山交通基盤部長、植田県議会議員、岡本全国治水砂防協会理事長、齊藤全国治水砂防協会理事よりご祝辞をいただきました。

その後、平成22年度の事業報告・収支決算報告、平成23年度の事業計画・収支予算案等の各議案の審議が行われ、原案どおり承認されました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。

〈平成23年度事業計画の概要〉

1 砂防事業の周知・啓発・普及

- ① 国・県の実施する事業への協力
 - ・「土砂災害防止月間」等への協力
- ② 会員による先進地視察研修の実施
 - ・砂防関係事業現地視察
- ③ 砂防関係担当職員に対する研修会の開催
 - ・市町等砂防担当職員研修会の開催
 - ・土砂災害防止法講習会の開催
- ④ 他機関の実施する講習会等への参加

2 砂防事業等促進要望の実施

3 「砂防だより」や砂防関係図書等の発行

4 全国治水砂防協会等への協力



植田県議会議員の挨拶



齊藤理事の挨拶

土砂災害対策講演会が開催される

総会終了後、県内3直轄事務所をはじめ各市町長、各土木事務所長等の多くの参加者のもと、国土交通省河川砂防局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室長の山口氏を講師としてお招きし、「最近の砂防行政について」と題する講演会を開催しました。

東日本大震災に対する砂防事業の取り組みや近年の土砂災害、火山噴火の状況及び交付金制度等についての講演があり、その後出席者による活発な意見交換が行われ、今後の土砂災害対策に大いに活用できる講習会となりました。



講演会の様子

全国治水砂防協会通常総会開催される

5月18日(水)、平成23年度(第75回)の(社)全国治水砂防協会通常総会が砂防会館で開催されました。

当日は全国の会員多数出席のもと、静岡県選出議員塩谷立衆議院議員をはじめ多くの国会議員が来賓として出席され、当支部からは支部長の原田袋井市長を含め12名の会員に御出席をいただきました。

総会は、綿貫会長による挨拶の後、平成22年度の事業報告・収支決算報告、平成23年度の事業計画・収支予算案等の議案が審議され、承認されました。また、当支部の原田支部長が本協会の新理事に選出されました。

最後に、東日本大震災及び新燃岳の噴火等による土砂災害の発生を受けて緊急提言が満場一致で採択され、閉会后、新理事等により国土交通省への要望活動が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



綿貫会長の挨拶

本県の参加市町

袋井市、伊豆の国市、河津町、
伊豆市、東伊豆町、南伊豆町、
松崎町、西伊豆町、函南町
富士宮市、島田市、掛川市
(計12市町) ※太字は本人参加



審議の状況



岡本理事長の挨拶

平成23年度「土砂災害防止月間」

6月1日(水)～30日(木)

毎年、各地で土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が発生し、多くの人命や財産が失われています。

平成22年に発生した土砂災害件数

H22年土砂災害被害	土石流	地すべり	がけ崩れ	計
全国	234	127	767	1,128
静岡県	20	1	36	57

(静岡県の土砂災害被害件数には7月の小山町を中心に襲った台風9号による被害も含む)

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害 (土砂災害防止説明会)」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催 など

国土交通省と静岡県では、梅雨時で土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

～住民と砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から6月27日にかけて、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、地域防災局、市町、警察、消防と協働で、防止施設の異状の有無、法面の状態、排水路の機能状況などを点検しました。

今年は東日本大震災を踏まえ、津波浸水区域内の急傾斜地施設へ設置した管理用階段の点検を重点項目に加えました。

施設の破損や小規模な崩壊などの異常が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



急傾斜地パトロールの実施状況

2 市町における広報活動の取組み

各市町では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



啓発懸垂幕の展示



H22年度土砂災害に関するポスター

広報誌への掲載	静岡市、浜松市、沼津市、伊東市、富士市、焼津市、藤枝市、西伊豆町、函南町
ホームページで広報	富士市、掛川市、藤枝市
土砂災害防止講習会の開催	浜松市、伊東市、島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、函南町、袋井市、伊豆市、牧之原市、東伊豆町、西伊豆町、森町、
ラジオ放送	K-mix「静岡デイリーメッセージ」、インターネットラジオ「静岡デイリーメッセージ」
その他広報	県内ファミリーマート206箇所へポスター掲示

の取り組み

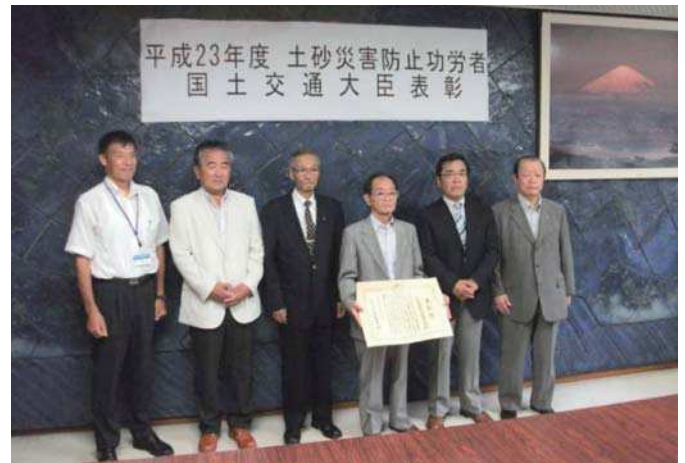
3

平成23年 土砂災害防止功労者国土交通大臣表彰について 小山町自主防災会連合会が受賞

5月31日(火)に、平成23年度土砂災害防止功労者が決定され、静岡県関係では、小山町自主防災会連合会が、受賞されました。

これは、平成22年9月の集中豪雨による土砂災害発生に際し、災害時要援護者の避難を重視した避難誘導や支援活動などを積極的に行い、一人の犠牲者もださなかったことが評価されたものです。

表彰式は平成23年6月24日(金)に小山町役場で開催されました。



表彰式の様子

4

みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)

5月28日(土)、土砂災害の恐ろしさや、砂防事業と警戒避難の重要性などを県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」を開催しました。

会場では国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台が共催し、土砂災害防止に関するパネル展示などが行われました。



会場の様子



土砂災害に対する 全国統一防災訓練を実施



小山町
(災害時要援護者避難支援)

～土砂災害警戒情報で早めの避難!!～

6月5日(日)、県下一斉に「土砂災害に対する防災訓練」が実施されました。

この訓練は、梅雨前線豪雨等による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、全国の市町村で実施されました。

本県では33市町において、地元地域住民や行政関係者など約2,000人が訓練に参加し、土砂災害警戒情報の伝達訓練や避難勧告の発令に伴う避難所への避難訓練などを実施しました。

また、6月5日以外に6月4日掛川市、6月11日(土)御殿場市、6月19日(日)伊豆の国市、6月26日(日)清水町において訓練を実施しました。

訓練参加市町

静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、川根本町、森町 (計33市町)

訓練の状況



藤枝市花倉地区(避難訓練)



焼津市山の手地区(防災講座)



森町米倉地区(負傷者搬送訓練)



磐田市匂坂上地区(応急救護訓練)



袋井市馬ヶ谷地区(土砂災害防止講習会)



伊豆市本立野地区(パネル展示)



三島市山田地区(避難誘導訓練)



小山町小山1区(要援護者支援)



牧之原市菅山地区(避難誘導訓練)



函南町畑地区(避難呼びかけ)



掛川市東山口地区(防災講習会)



伊東市松原地区(ハザードマップ作成)

東日本大震災を受けた砂防事業の取り組み

平成23年度国の第1次補正予算で 急傾斜事業2億1千8百万円が決定

5月2日に成立した、東日本大震災等に係る国の平成23年度第1次補正予算で、最大震度6強を観測した富士宮市外県東部を中心に、がけ崩れの危険性の高い4地域7箇所の急傾斜事業費2億1千8百万円が決定されました。

この補正予算による急傾斜地崩壊対策工事により地域の安全対策を進めていきます。

平成23年度第1次補正予算箇所表

箇所名	市町名	事業費(千円)
八幡山	熱海市	16,000
下船原原之前	伊豆市	71,000
上稲子北ヶ谷戸	富士宮市	25,000
関の沢	静岡市	36,000
時ヶ谷ナガウタリ	藤枝市	30,000
西野田No.3	島田市	30,000
上長尾今市場	川根本町	10,000
7箇所	合計	218,000

県6月補正予算により 津波避難場所確保対策（土砂災害防止施設）を推進

東日本大震災における未曾有の津波被害を受け、県では4月15日に静岡県津波対策検討会議を設置し、ハード対策ソフト対策について検討を行っています。

砂防事業でも、第三次被害想定における津波浸水想定区域内にある急傾斜地崩壊防止施設について津波避難階段の設置を進めることとし、5月21日に行われた津波避難訓練後に地元調整が整った3箇所の階段設置について、6月県議会で3千万円の補正予算が成立しました。

残る階段設置についても早期の予算確保に向け取り組んでいきます。



小梅（沼津市）

東日本大震災時に有効に機能した 急傾斜地施設（管理用階段と特定利用斜面保全事業）

東日本大震災では急傾斜地崩壊対策事業の特定利用斜面保全事業により造られた高台が津波避難地として多くの住民を津波被害から守ることができました。

本県においても松崎町岩地西の田をはじめ、数箇所で特定利用斜面保全事業を実施しておりますが、避難場所のない箇所などには有効に機能するため、地形等を考慮しながら本事業を推進していきます。



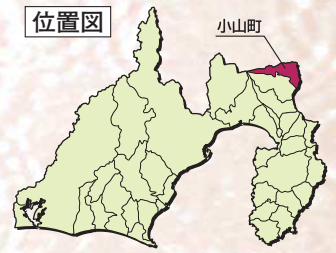
岩地西の田（松崎町）

【特定利用斜面保全事業とは】

急傾斜地崩壊対策事業（地すべり対策事業でも可）とその他の市町村等の公共公益事業を合併し、斜面の安定性を確保するとともに、斜面の基盤整備のスペースを生みだし、地域活性化を促進します。



小山町 台風9号に伴う 土砂災害対策の進捗状況



【事業概要】 昨年9月の台風9号により甚大な土砂災害が発生した小山町では、再度災害の防止を図るため、緊急的に砂防堰堤や擁壁工等の工事を鋭意進めております。



■災害関連緊急砂防事業

箇所名	位置	事業費(千円)	堰堤工
野沢川	柳島	328,752	新設 2基
湯船川	湯船	233,280	嵩上 1基
奥の沢川	上野	164,736	新設 1基
上野川	上野	188,928	嵩上 1基
計	小山町4箇所	915,696	

■急傾斜地崩壊対策事業(交付金・補正)

箇所名	位置	事業費(千円)	堰堤工
湯船子り坂	湯船	106,000	擁壁 1式
湯船上耕地	柳島	78,000	擁壁 1式
計	小山町2箇所	184,000	

■土砂災害

	土砂災害 (件)		計
	土石流	がけ崩れ	
小山町	18	21	39
御殿場市	1	0	1
計	19	21	40



大内グリーンベルト地区で恒例の「タケノコ掘り」イベントを実施

4月24日(日)、静岡市清水区大内グリーンベルトモデル地区内の杉谷津沢で、地元の小学生たちを対象に恒例のタケノコ掘りが行われました。

このタケノコ掘りは、竹林の増殖を抑制し、健全な法面を保持する大切な作業であり、子供たちの貴重な体験学習になることから、「わんぱくたかべ倶楽部」(地元PTAボランティア)が計画し、「森と水辺を育てる会」が協力する形で行われています。

この日は、地元の高部小学校、高部東小学校の親子も含め約190名の参加があり、育てる会の指導のもと行われました。



NPO「森と水辺を育てる会」より説明



タケノコ掘りの様子

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

6月1日(水)、山梨県富士吉田市の山梨県環境科学研究所で富士山周辺の15の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が開催され、静岡県県砂防課はオブザーバーとして参加しました。

総会では、平成22年度事業報告、平成23年度事業計画が承認されるとともに、役員交代があり、会長に忍野村長(山梨県)、副会長に裾野市長となりました。

国土交通省富士砂防事務所の吉柳所長より「土砂災害防止法の一部改正について」の説明があり、総会終了後の研修会では、山梨県環境科学研究所の荒巻所長より「富士山噴火は想定内(富士山の大規模火山防災の対応について)」の講演がありました。



総会の様子

親子で大谷崩れの森づくりイベントが開催される



6月4日(土)、静岡市の大谷崩れで「いのちの森づくり少年団を支援する会」により「第4回親子で大谷崩れの森づくり」が開催されました。当日は、小学生や県立科学技術高等学校の生徒26名、ボランティアなど約60名が参加し、現地周辺で採取した自生種のヤシャブシ、ヤナギ、ハンノキなどの苗木約100本を植樹しました。

大谷崩れは、日本三大崩れに数えられる安倍川上流の大崩壊地であり、国土交通省静岡河川事務所が実施する直轄砂防事業として、床固め工や山腹工等の整備が進められています。

全国研修センターの現地講習会が小山町災害現場で開催される



6月23日(木)、昨年の台風9号に対する小山町の奥の沢川及び上野川の災害関連緊急砂防工事現場で、(財)全国建設研修センターの現地研修会が開催されました。全国の若手砂防技術者21名に対し、砂防課や沼津土木事務所の担当者から災害の概要の他、災関連事業の計画や申請のポイント、現場の安全管理等について説明が行われました。

直轄事業の取り組み

今回は狩野川の直轄砂防事業を所管する沼津河川国道事務所の取り組みを紹介します。昭和33年9月26日、伊豆半島東岸を通過した狩野川台風は狩野川流域に記録的な豪雨をもたらし、いたるところで土石流や山腹崩壊が発生し、死者・行方不明者853名、家屋被害6,775戸におよぶ壊滅的な被害となりました。

これを契機に昭和34年より狩野川修善寺橋上流域の伊豆市及び伊豆の国市の一部を対象に直轄砂防事業に着手しました。これまでの約50年で119の砂防施設の整備を進めてきました。

伊豆といえば、わさび、浄蓮の滝、天城隧道、温泉など静岡県を代表する観光地であり、年間約600百万人がこの地を訪れます。また、伊豆縦貫自動車の整備により、この地域を訪れる観光客の増加が期待されています。

しかし、この地域は火山堆積物で覆われた脆弱な地質であるとともに、全国平均の約2倍近い約3,000mmの年間降水量があります。また、今後30年以内に87%以上の確率で発生が予想される東海地震の強化区域でもあります。そのため、いつどこで災害が発生してもおかしくない状況です。

沼津河川国道事務所では、土砂災害から地域の安全を守るために、以下のような取り組みを進めています。

1. 災害時要援護者施設や避難地・避難路、人家等を保全するための砂防施設の整備
2. 大規模土砂災害に対応するため国・県・市町と一体となった連携、情報ネットワークの推進
3. 土砂災害の予測及び避難計画等に資するための情報機器の整備
4. 過去の災害を風化させない、防災に対する意識を高めるための防災教育の普及
5. 特に高度な技術を要する土砂災害について緊急調査を行い、被害の想定される区域や時期などについて市町への通知、一般への周知



災害時要援護者施設や国道414号を保全する市山地区砂防堰堤群（事業中）



砂防施設見学会（池尻川砂防堰堤）

【平成23年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきまして、ありがとうございました。



募 集 コ ー ナ ー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。

- 【募集対象】 小・中学生
- 【応募期間】 6月1日～9月15日
- 【応募方法】 作品には応募者の学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）、を明記して下さい。
- 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課 土砂災害対策班
TEL 054-221-3042 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2011 IN 静岡

【日 時】 2011年9月30日 10:00～16:15
【会 場】 午前 静岡労政会館 午後 あざれあ7Fホール
※全国治水砂防協会が協賛しています。

**参加
無料**

平成23年 8-9月 砂防関係の 主な行事

- 8月25日(木)～ 27日(土) 市町長等砂防事業視察
- 8月30日(火)～9月2日(金) (社)日本地すべり学会第50回研究発表会及び現地見学会
8月30日(火) 講演会：あざれあ
- 8月31日(水)～9月1日(木) 研修会：グランシップ
- 9月2日(金) 現地見学会：3コース(由比、神尾、土肥の各地すべり)
- 9月1日(木) 防災の日
- 10月21日(金) (社)日本地すべり学会中部支部現地検討会



【表紙写真】
梅雨の晴れ間に
〈撮影地：御殿場市上小林〉
鈴木 希夫さん(御殿場市)
※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編 集 ・ 後 ・ 記 今年も、「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」が開催されました。当支部では、「土砂災害に関する絵画・作文コンクール」の入賞作品の展示や土砂災害啓発用グッズなどを作成・配布し土砂災害防止の啓発に役立つように活動しています。人的被害を出さない為には一人一人の防災意識が重要となりますので、早めの避難をお願いいたします。今後とも当協会への御理解と御協力、また砂防だよりの御愛読をお願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>